

夢

追

い

人

夢を形にし、それを目標にして懸命に取り組む



(株)シギヤマ家具工業
代表取締役社長 嶋山 國利さん



筑後工場

ここ最近、夢追い人に当会議所議員の方々に登場いただいているが、今月も議員の嶋山國利さんにお話をお伺いした。嶋山さんは、大川市一木に製品開発工場を、家具製造工場を筑後市と、ベトナムに有しておられる。優良企業である。嶋山さんは少年時代から大変な苦勞をして来られたそうだ。と言うのも十四歳で父を亡くし、十五歳で独立することになったからだ。十五、六歳の少年が五、六〇歳の経営者たち相手に交渉をするのは想

像を絶することだった。あまりの苦しさ十九歳の時、父の墓標を蹴って傾けてしまった事もあった。自殺することさえ何度も考えた。まさに言葉で言い表せないような苦しみを経験してきた。

ただ救いとなった特技があった。NHKのご自慢チャンネルになったほどの美声と声帯模写(モノマネ)である。文字通り歌を歌って家具を売ったこともあった。

こうした苦難の中、年数を重ねた嶋山さんは、ワンマンの経営者になっていったという。

しかし、転機が訪れたのが、昭和六十年の日航機の墜落事故であったそうだ。どういことだろう。その事故で歌手の坂本九さんが亡くなった。そして犠牲者の中に、従業員五十〜六十名の中小企業の社長三人が含まれていたという。その後いずれの会社も数ヶ月後に倒産した。「そのとき考えさせられましたね。私もし



使用目的に合わせて
タイプが選べるモードシリーズ



死んだらこの会社は
どうなるのだろうか。
誰が後継するのだろ
うかという風にです
ね。「これがきっかけ
となってワンマン体
制から、人材を育て、
活かしていく方針に
切り替えた。」

今、嶋山さんはこ
う語る。「良い会社に
なるには技術力と経
営力が必要です。と
りわけ、経営の分野
で人材力は重要だと
考えています。嶋山

家具工業には社長の
私が仮に今亡くなっ
ても、社長業を引き
継げる人材が何名も
います。こうした人
材は嶋山家具工業を
支えています。」

どのように部下を
育ててこられたのだ
ろうか。「部下の経営
判断を徹底的に尊重
します。例えば五〇
〇〇万円の機械を購
入する場合でも、最

終判断は任せます。もちろん、
社長として押さえておかねば
ならない最低ラインはきちん
と把握します。しかし、部下を
信用します。仮に失敗しても部
下を責めません。最終的な責任
は私が負います。責任を部下に
求めたら、部下は育ちません。」
と言われる。給与面でも優遇し、
大切にしている。社長の給与に
近い待遇を受けている人もい
るそうだ。こうして力をつけた
部下たちが会社の原動力とな
っているのだ。

嶋山さんのいとこ、森田虎雄
さん（モリタインテリア会長）
大川商工会議所顧問のことにも
話が及んだ。「森田さんには
本当に感謝しています。恩人で
すね。貴重な経営ノウハウを学
ばさせてもらいましたし、経済
面でも随分支援してもらいま
した。」と感謝を口にされる。

また目標管理の大切さも強
調された。「夢を形にして、それ
を目標にして懸命に取り組む
こと。描いただけではダメです。
行動することです。「しかも」そ
の目標を口に出すことです。多
少ホラ吹きと思われるくらい

がいいのではないのでしょうか。
そのことが達成のためのより
強い動機付けになると思いま
す。」と言われる。
そこで、五年後の目標を伺っ
た。「これは副社長が策定した
のですが、五年後には、今の収
益を二倍にすることです。確実
にそのステップを踏んでいき
たいですね。」と言われる。

切々と語られた若い頃の苦
労話、そして人材を大切にし、
育て上げ、明確な目標に向かっ
て有言実行する話は、とても興
味深いものであった。

